

神石協働支援センター 郷土料理本

「残しておきたいおふくろの味」 続編作りをめざして！！

～いきいきふれあい教室の活動～

平成18年に結成された「いきいきふれあい教室」は、伝統食・行事食等の郷土料理の継承を目的に、その掘り起しとレシピ化を行い6年間の集大成として「残しておきたいおふくろの味」を発刊しました。今年度はその続編を作成する運びとなりました。

実施日：平成26年度（14回，延べ119人，約50品）

平成27年度（18回，延べ148人，約60品）

平成28年度（21回，延べ108人，約30品）



【キーワード】
伝統文化の
継承

つどう



少子高齢化にともなう伝統文化の継承。特に伝統食・行事食等の郷土料理を目的に平成24年3月に作成したレシピ集「残しておきたいおふくろの味」が好評を博しました。高齢化に伴い会員数が減少してきましたが続編発行を目標に活動を継続し、平成29年度中に続編を発刊する運びとなりました。

まなぶ

既存のレシピ集に載せられなかった郷土料理の掘り起しと古い食器類の発掘を行いました。身近な食材を利用して多種多様な料理が作られていることに驚き、これらを継承していかないといけないと会員同士再認識することができました。

むすぶ

地域住民に協力を呼び掛け、食生活に関係する古い食器類の掘り起しをすることができました。町内では、小学校の総合的な学習の時間、学校給食、JA女性部、町の食育推進事業等にも活用してもらい、農文協が発行する「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」の取材等も受けました。